



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第23号(H22.11.12)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



感性を磨く！ 校外学習 美術鑑賞

10月28日(木) 美術の時間に都城市美術館で開催されている「セザンヌ、ピカソから現代展」を鑑賞しました。

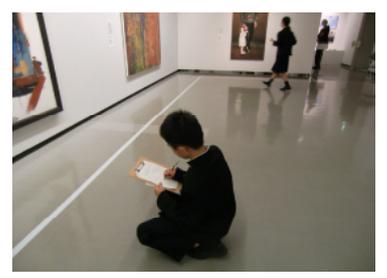
感性とは、「物事を心に深く感じ取る働き」とか「感覚的な能力」と解されます。では、感性を豊かにするために大切なことはどうすることでしょうか？それは、好奇心旺盛で何にでも関心を持ち、まわりの素晴らしいものを体感して、小さなことでも心から喜びを感動し、感動できたことに感謝することでしょう。さらにまわりのすべてに対して思いやりの気持ちをもつことでしょう。感性は長い年月に培われるもので、日々の積み重ねであろうと思います。今回の美術の時間もまさに感性を磨く時間でした。もっともっと感性を磨きましょう！



(興味津々です！)



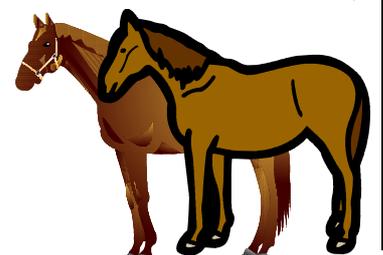
(熱心に説明される美術の串間弥生先生)



「兀兀(コツコツ)」 - 実り(成長の秋) -

休まず目立たないながらも着実に努力を続ける様子を「コツコツ」と言います。この言葉は、漢文「兀兀」という難しい語からきています。「兀(コツ)」という文字には「動かない」という意味があります。そこから「兀兀」は「心を一方に注いで動かない。勤めて休まない」という意味の言葉になったということです。

「コツコツ」と同じ意味で、「地道」という言葉があります。地道は「手堅く着実に物事を進める」という意味です。この言葉は馬術からきています。馬術で、馬を一步一步ゆっくりと遅い速度で走らせることを地道と言います。これに対して、馬を早く走らせることを「早道」と言います。「地道」と「早道」を意のままに駆使できれば乗馬の技術は相当なものだと言えます。皆さんには、勉強でも、部活動でも、じっくりと地道にいくところと、一気か

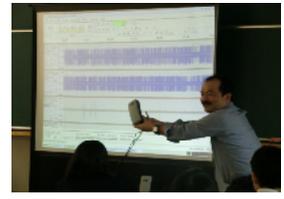
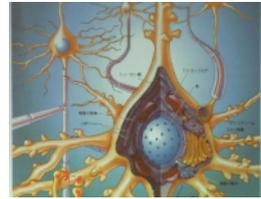


せいに早道でいくところを自在に使い分けて欲しいところですが、なかなか簡単にはいきません。まずは、いたずらに周囲から影響されることなく、一つの目標を達成するために、自分なりの地道な努力を続けて、怠らないことが大切ではないでしょうか？それが「兀兀」です。

自然科学探究 「科学の謎に迫ろう！」宮崎大学 出前授業

11月5日(金) 1-A教室
宮崎大学医学部 助教
機能制御学講座統合生理学分野
國武 孝人(くにたけ たかと)
講義テーマ

「脳とコンピューターをつないで人を助けることができるか」
・パソコンやプロジェクターを操作しながら、脳のつくりとはたらきについて講義していただきました。内容はかなり高度なものでした。



11月9日(火) 1-A教室
宮崎大学医学部 教授
腫瘍・再生病態学分野
片岡 寛章(かたおかひろあき)
講義テーマ

「細胞の社会：我々の疾病をどのようにとらえるのか」
・プロジェクターを操作しながら細胞などについて講義していただきました。内容はかなり高度なもので難しいものでしたが興味ある内容でした。



11月11日(木) 1-A教室
宮崎大学教育文化学部 教授
理学博士
恵下 敏(えげ おさむ)
講義テーマ

「おもしろい理数世界」
・内容は、三平方(ピタゴラス)の定理や円の面積を直角三角形に変えてということで、工作を行いました。

